

課題番号：デブリ-204

課題名	廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「作業環境の向上」 課題「敷地内・境界線量評価」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し	1.2			
			PCV/RPV/建屋の解体				
			輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
ニーズ	望ましい状態とその理由	(参考) 関連する研究課題					
1	敷地境界線量を評価したい	●燃料デブリ取り出しの工事に伴う建屋外への影響を適切に把握するために、敷地境界付近のダストモニタ等で周辺監視区域外の濃度限度を下回ることを適時に確認することが望まれる。	【実施されている研究課題】	特になし。			
			【検討されている研究課題】	課題リスト「燃料デブリ取り出し工程における敷地境界線量率評価手法開発」			
2	敷地内の被ばく線量を評価し、作業員の積算線量を低減したい	●作業員の被ばく管理を適切に行うために、被ばく線量評価を実施し、除染に係る被ばくとPCV補修等の作業に係る被ばくのバランスを考慮しつつ、作業全体に係る積算線量を低く抑える最適な対策を講じることが望まれる。 ●福島第一原子力発電所においては様々な核種が混在しているため、被ばく管理上は線種ごとに被ばく量を適切に見積もることのできる核種（着目核種）を合理的な評価対象として選定しておくことが望まれる。	【実施されている研究課題】	特になし。			
			【検討されている研究課題】	課題リスト「自給電源搭載放射線計測機器の開発」			
関連する課題	デブリ-106「建屋内の汚染状況の把握」 デブリ-205「閉じ込め機能の構築」 デブリ-206「ダスト対策」 共-2「可視化技術」						